

地域課題の解決に向けた取組

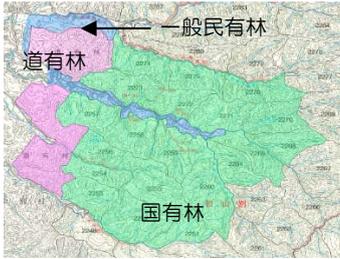
～初山別地域森林整備共同施業団地の 共同施業、協調出荷に向けた取組～

留萌北部森林管理署

はじめに

留萌北部森林管理署初山別地域においては、平成23年3月に、留萌振興局、初山別村、遠別初山別森林組合、留萌北部森林管理署の4者で初山別地域森林整備に関する協定を締結しています。

この協定では、森林共同施業団地を設定し、民有林と国有林が協調して適切な森林整備を推進することで、森林の持つ水源かん養、土砂流出防備、木材生産など多様な機能を十分に発揮することを目的としています。



初山別地域
森林整備共同施業団地

これまで、国有林83ヘクタール、民有林136ヘクタールの間伐を行い、路網整備は

民国全体で4、278メートルを行ってきたところです。

分収造林地を含む伐採箇所の連携した取組

当団地には初山別村との分収契約をした造林地が有り、近く主伐期を迎える林分もあります。しかし、面積が小さく単独では森林整備が進まない状況です。

このため、分収造林地を含む当該地域の森林整備を進めるにあたり、隣接する道有林と連携ができないか検討した結果、道有林でも近く伐採の予定があり、時期を調整して共同施業に取り組んでいくことの気運が高まってきたところです。こうした中、昨年度、関係機関による共同施業団地の運営会議、現地検討会等を開催し、契約方法や時期について具体的な検討を進めてきました。

現地検討会を開催し共同施業、協調出荷の共有化

現地検討会では、実務担当

者が参加し、搬出予定線や土場の位置等を確認したほか保安林の間伐等の伐採および作業行為の申請手続きや収穫調査方法、分収造林地の主伐後再造林など幅広く意見交換をしたところです。



現地検討会の様子

- その結果、
- ① 道有林の路網を利用して国有林の伐採予定地へアクセスすることが容易で、搬出路の短縮につながる。
 - ② 既存土場の相互利用が可能である。
 - ③ 一般民有林所有者の中にも間伐を行う意向がある。

ことが分かり、「地域全体で作業コストの削減が可能」との

判断から、現在、具体的にどのように連携し、効率的に森林整備を進めるか調整を行っているところです。

おわりに

地域の民有林においては、集約化が進まず、小規模・分散的な木材の搬出や森林整備が行われています。

こうした状況を踏まえ、今後は森林共同施業団地以外の民有林においても共同施業、協調出荷などの連携した森林整備を進め、地域全体で集約化やコスト削減を実現したいと考えています。



伐採予定箇所の遠景